

愛しのルーシー (1992)

HOMEWRECKER

メディア TVM

ジャンル SF サスペンス

製作国 アメリカ

時間 87分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

知能を持ったコンピュータが、その生みの親である青年を愛し、彼の妻を襲うSFスリラー。コンピュータ技師の青年デヴィッドは米海軍の防衛用コンピュータの実験中、その操作を誤って民間機を爆撃してしまう。責任を感じた彼は一人山荘に立てこもり、このコンピュータの改良に没頭、それをルーシーと名付け美しい声（懐かしや「チャールズ・エンジェル」のケイト・ジャクソンが担当）と知能を与え共に生活を送るようになるのだが……。結局はコンピュータの女性が男を愛したために暴走し、その恋敵の人間に襲いかかるといふ異色のラブ・サスペンスであるが、どう見ても人間の女の方が勝手で、むしろルーシーの方に同情してしまう。そのため、ラストも釈然とせず、いま一つ不満が残る物となっている。監督は「夕暮れにベルが鳴る」のF・ウォルトン。

【クレジット】

監督	フレッド・ウォルトン	Fred Walton
原案	エリック・ハーラチャー	Eric Harlacher
脚本	フレッド・ウォルトン	Fred Walton
	エリック・ハーラチャー	Eric Harlacher
撮影	ジョージ・コブラサ	Geroge Koblasa
出演	ロビー・ベンソン	Robby Benson
	シドニー・ウォルシュ	Sydney Walsh
	サラ・ローズ・カー	
声の出演	ケイト・ジャクソン	Kate Jackson